

茅沼地区及び塘路地区における水質浄化実験について

標茶町茅沼地区において、湿原内に生育している植物を利用し、温泉排水の水質浄化実験を実施。また、標茶町塘路地区における生活雑排水への適用可能性についても検討。

当該実験は、地元の環境共生型ベンチャー企業へ委託し、標茶高校の協力を得て実施。環境教育的効果も期待。

1．標茶町茅沼地区

(1) 実験場所：標茶町茅沼地区より温泉排水を採取し、標茶高校ハウス内にて実験。
(平成14年12月～)

(2) 実験内容：ヨシ、エンコウソウなど4種類の実験用植物を植栽したネット（網状構造体）を排水槽に浮かせ、定期的にPH、BOD、CODなど7項目の水質測定を実施。併せて、野外での適用の可能性を検討。

2．標茶町塘路地区

調査内容：標茶町塘路地区において、生活雑排水を7～8箇所採取し、水質測定を実施。温泉排水と同様の処理が可能かどうかを検討。

標茶高校ビニールハウス内で
実験用植物を設置



実験風景